

【学校関係者評価書】（令和5年度）

園 名	鶴舞やまこども園
評価者名 (学校評議員名)	階戸幸一様、廣瀬さやか様、宮崎和子様
学校関係者評価実施日	

大項目	中項目	目標達成状況及び取組状況について	園の取組の適切さについて	教育活動、学校経営の改善方針について
I 教育活動に関するもの	教育目標・教育計画 教育内容・保育指導 園行事 人権教育 生徒指導 特別支援教育	今年度のテーマ「やってみたい 試してみたい 心と体を動かして楽しむ」楽しみながら体力アップする方法を先生たちがいろいろ工夫して体を動かして遊ぼうという取り組みを実施。日常の運動あそびの時間を十分確保したことで、体力増進・健康維持にも繋がった。 主体的な活動が出来るように、子どもたちに寄り添い、環境を整え、スムーズに教育保育が展開できるよう創意工夫を行う。 コロナへの対応の変化に合わせて園でも行事園外保育の見直しを行う。	園内外の研修に積極的に参加し、職員同士、学んだことを共有し、また、学んだ事を生かして、別の視点で子どもを見ることができたり、支援の方法を学ぶことにより、子ども理解を深めた。 保護者への行事後アンケートで成長や内容を喜ぶ感想が多く、理解して頂けたことが推察出来た。	子どもたちの日頃の姿を観察し、興味関心に基づいた計画を策定している。 子どもたちの興味と成長に合わせ、季節に応じた環境準備を検討し、教育保育の環境構成の見直しや改善を再考している。 園での活動をタイムリーに発信するためInstagramを活用している。
II 園経営に関するもの	組織運営 研究・研修 安全管理 保健管理 地域との連携 施設・設備 情報管理	怪我や事故、地震・火災などの災害や不審者対応に備えて危機管理意識の向上を図る。 園内外設備や遊具に関して、職員が日常的に安全点検し、また、専門業者の診断を受けて、安全管理に努めた。	コロナ禍で実施できなかった小学校との連携や接続を定期的に行った。	職員に求められる業務が年々増加している中で教育保育の質が損なわれないよう、職員の業務負担の分散化を図る体制を構築している。 業務を適切に行い円滑に遂行できるように、業務の効率化のため、保育準備の役割分担、情報共有方法について検討し、段階的に推進している。

その他の園に関する意見

- ・昨年度に比べ肯定的な意見が増えている
- ・行事において、当該クラスの保護者のみの観覧であったが、他のクラス、異年齢児クラスの保護者にも立ち見など自由に見てもらってもいいのではないのか。（実際はInstagramで観る方が良いのかもしれないが）
- ・運動会など大きな行事において、保護者の出入りの見極めはどのように行っているのか。今後も安全面に配慮してください。
- ・PTA育友会が保護者会へ変わる予定であるが、園の状態をお伝えするなど、相談事を共有する場、発信する場としてそのような場を持てるように、年に1回でも集まる場を作ってほしい。
- ・現在はクラス数も増えているため以前のようににはできないが、ダイナミックな遊びや砂場で飽きるまで、また日をまたいで行うピタゴラスイッチ など遊具全体を使って遊ぶなど工夫しながら実施してほしい。
- ・園の譲れない部分である主体的な教育を軸に、今後も教育の質を高めてほしい。